

茅ヶ崎市立鶴が台小学校の紹介

鶴が台小の魅力は・・・

♪花がさく 緑の木陰 広い校舎に あられる光
友と友 手を取りあって 助けつつ 進む 我ら♪

本校校歌の2番の歌詞です。この歌詞の通り緑豊かな環境の中で、児童一人ひとりがのびのびと心豊かにたくましく育っています。鶴が台小学校の特色を一言で言えば、「小さな学校」。全校児童293名、茅ヶ崎市内で一番児童数が少ない学校です。全教職員で全校児童を指導していくことを心がけています。多くの手をかけ、目をかけたい学童期だからこそ、丁寧なかかわりにこだわった指導を行っています。今年度も縦割りのグループで、1年生を迎える会を兼ねて、中央公園まで、全校で遠足に出かけてきました。

本校の学校教育目標は「知・徳・体と全人格的に調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指す」です。

また「『ひと、もの、こと』との豊富な関わり合いの中で、心豊かに、未来を生き抜く力をつける」ことを今年度の重点目標とし、日々の活動・授業づくりに取り組んでいます。

保護者・地域の皆様のご理解、ご協力をいただきながら、子どもたちが心も笑顔でいられる学校をつくりたいと考えています。

目指す学校の姿



「小さな学校」の良いところ

- 声をかけやすい
- より丁寧な関わりができる
個を大切にしたい指導が行いやすい
- 一人ひとりの存在が大きく、大切
チーム力の強化につながりやすい

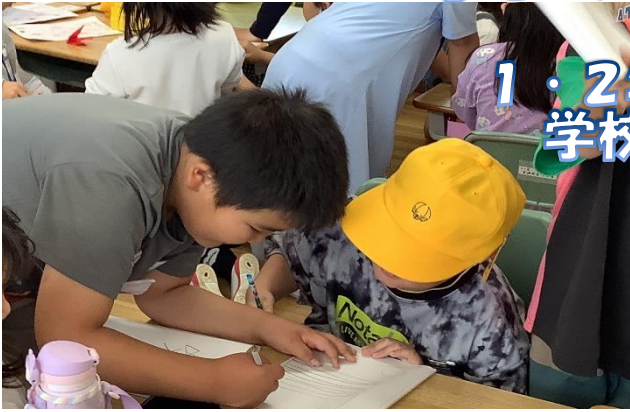
「大きな家族」の意味づけ

- とことん子どもを慈しむ
- 見返りを求めている
- 許すことができる



～卒業生が描いたイメージ図です～

学びのふうけい



※写真は昨年度から今年度に撮影されたものを掲載しています。